



町民のみなさんも、保育園、小中学校等の公共施設が古くなってきていると感じたことはありませんか。

実際に、扶桑町の公共施設の多くが建設されたのは、1970年代から1980年代で、その頃は、働く世代が増え、税収も増加している時代であり、また、補助制度等による国からの支援も厚く、短期間に多くの公共施設を建設することが可能でした。今では、古くなってきた建物や設備の改修に加え、今後予定される公共施設の建替えが大きな課題となっています。

公共施設建築年代一覧表

	小中学校	児童福祉施設	学習等供用施設	その他
1960年代	柏森小学校 校舎			扶桑町役場
1970年代	高雄小学校 校舎 山名小学校 校舎 扶桑中学校 校舎 扶桑中学校 体育館 扶桑東小学校 校舎	斎藤保育園 高雄南保育園 山名保育園	山名学習等供用施設 高雄学習等供用施設 柏森学習等供用施設	つくし学園 高雄シルバーハウス いこいの家 保健センター
1980年代	扶桑東小学校 体育館 扶桑北中学校 校舎 扶桑北中学校 体育館 柏森小学校 体育館	高雄保育園 柏森保育園 高雄西保育園	山名西学習等供用施設 扶桑東学習等供用施設 斎藤学習等供用施設 柏森中央学習等供用施設 高雄西学習等供用施設	中央公民館 総合体育館 サングリーンハウス 図書館 第1分団消防車庫 第2分団消防車庫 第3分団消防車庫
1990年代	山名小学校 体育館 高雄小学校 体育館	柏森南保育園		扶桑文化会館 扶桑駅東西連絡橋 総合福祉センター
2000年代		高雄子育て支援センター		柏森駅南北連絡橋
2010年代		高雄放課後児童クラブ館 扶桑東放課後児童クラブ館 山名放課後児童クラブ館 柏森放課後児童クラブ館		学校給食共同調理場
2020年代		児童センター		

■ 今後は

経年による施設の老朽化に伴い改修費用が増加すること、建設された時期が集中しているため、一定期間に多くの建物を建替えなければならないことなどが課題となります。

また、人口推計では、扶桑町の人口が2025年頃をピークに微減傾向に転じ、さらに少子高齢化が顕著になり、生産年齢人口（15歳～64歳）への負担が増加していくことや、医療費助成や福祉などにかかる費用の割合が増加し、公共施設の改修等に充てられる経費の割合が減少していくことが懸念されます。

それでも、建物には寿命があり、必要な施設については建替えていかなければなりません。

■ 公共施設を更新するために

- ・ 建替えに莫大な費用が掛かるため、建築コストを削減する
- ・ 建替え時期を分散し、コストを平準化する
- ・ 国からの補助を受けるなど財源を確保するなどが、今後取り組むこととして、考えられます。

■ 次回は

「建築コストの削減」について、もう少し踏み込んで考えていきたいと思います。

■ 今回の記事についてのご意見・ご感想は

こちらから受け付けます →



QRコード以外からも受付しますので、財政管財課 施設管理グループまでお問い合わせください。

お寄せいただいたご意見・ご感想は、今後の参考にさせていただきます。